



木曽林務課だより

7月

梅雨明け間近で夕方の強い雷雨が気になりますが、夏にはキャンプ等で森林等に入られる皆さんに気にかけていただきたいお知らせです。

森林で気持ちよく楽しく過ごすために、ちょっと注意を

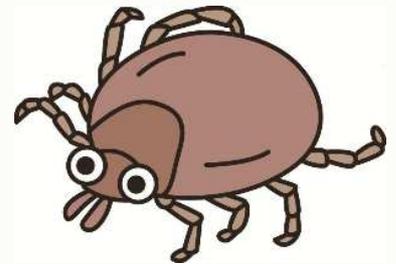
「山の中にはクマ等がいる」と思って行動を

夏季は、クマ等の動物にとって食物が少なくなる時期で、広範囲を動き回ります。山に入る場合、クマ等の動物がいる場所に来ていることを忘れずに、周辺に十分に気をつけて、鈴やラジオなどで音を出して、クマ等の動物に人の存在を知らせながら、周辺の状況に十分に注意を払いながら行動しましょう。

「森林内に入る時は、服装に気をつけて」

夏季は動物だけでなく、虫やマダニ類なども活発になります。虫に血を吸われて痛かったり、かゆくなったりするだけでなく、マダニ類では感染症を媒介することもあります。そのため、森林内では長袖、長ズボンで活動するとともに、虫よけなどもうまく活用しましょう。

また、帰宅したら、マダニ等が身体にくっついていないか確認することも忘れずに。



「すっきり片づけて、ゴミは持ち帰りましょう」

キャンプや水辺のBBQの食べ残し、缶に残された飲み残しが、その場所にサル、クマ、カラスなどの動物の誘引物になり、思わぬ事故の原因となることがあります。

食べ残しのゴミなどは、キャンプ場では、管理者の指示に従って処分し、水辺などでは、かならず家まで持ち帰って、適切に処分してください。

「火を使うときは、直接地面で火は使わない」

夏のキャンプ等では野外で焚き火をすることが多くなります。そうした場合は、BBQ台、焚き火台などを使用し、森林内の地面への「直火」を行わないでください。

直火は、山火事の危険が増えるため、禁止されています。また、直火の熱で土の中に寝ている菌が目覚めて、森林内や林道脇などのマツ類に寄生して枯らしてしまう「つちくらげ病」という病気を引き起こします。

